

## 6

**【中上級者の学習に必要な意識③】  
ボキャビルを優先**

— 単語が不足すると効率的に学習できない。  
たとえば多読もできない —

多読と精読、多聴と精聴が大事だと言われます。しかし、この4つのうち、多読をしている中上級者は意外と少ないものです。単語が不足しているために、英文が退屈で、多くを読めないのです。

多聴であれば、関心のあるドラマや映画を使えば、聞き取れない箇所が少々あっても、「ところどころわかる」感覚があれば聞き続けるのは苦にならないものです。実際、通勤中に聞き流している人は多いでしょう。対して、多読は、「ところどころわかる」感覚があっても、続かないものです。通勤中に英語を読み流しているという人は少ないのではないのでしょうか。多読は、「かなりわかる」くらいの感覚がないと続かないものなのです。そして「かなりわかる」ためには、かなりの単語が必要です。

しかし、ボキャビルの重要性がわかっても、挫折する中上級者は非常に多いです。それには次のような理由があります。

- 語彙そのものが難しくなる。cold (かぜ) より tuberculosis (結核) のほうが覚えにくい。

- 基本単語と比べれば、覚えた単語に実際の英文で出会う頻度が低くなる。「覚える意義がないのでは？」と感じられることがある。
- 覚えた単語が増えてくると、復習にかかる時間がなくなる。
- 上達するにつれて、紛らわしい単語が増えてくる。新しい単語を覚えるときに、頭の中にすでに紛らわしい単語があるため、覚える負荷が高くなる。たとえば complement(補足するもの、補語)という単語を新しく覚えるとき、すでに頭の中に似たような compliment(お世辞、誉めること)があるために、混同しやすくなる。
- 基本単語のときに有効だった覚え方(語源や例文などの活用)が、難易度の高い単語では有効でなくなってくる。

\*

単語の悩みは本書で解決できます。ポキャビルを優先して学習してください。

### 注 意 点

本書では、リスニングのトレーニングは紹介していません。リスニングには多聴と精聴が必要ですが、精聴の手順は前著で詳しく紹介してありますし、多聴は、要はたくさん聴くということですが、これが困難な人はいないからです。iPod やインターネットが普及した現在、聴くものに困ることはないし、上記のとおり、聞き流すことは、読み流すことより簡単だからです。

8

## 多読すれば語彙は自然に増える？

— 発音が身につかない。覚えた単語を維持するには有効。  
自然に増えることを期待すると危険 —

「多読すれば語彙は自然に増える」という意見を見聞きすることがあります。

もし身近に「多読すれば語彙は自然に増える」と主張している人がいたら、次のことを確認すればよいと思います。

- 多読というのは、本や雑誌を何冊くらい読むのか？
- どのくらいの期間をかけるのか？
- その結果、どれくらいの語彙が身につくのか？
- 発音はどうやって身につけるのか？

もし納得のいく答えが得られて、「自分でも実行できそうだ！」と思えたら、真似をすればよいでしょう。

ちなみに私はこういう意見を当てにしていません。もちろん、世の中には天才や秀才がいますから、絶対にあり得ないこととは思いません。そういう主張をする人がいるのなら、その人にとってはそうなのでしょう。ただ、そんな都合のよいことが自分にも当てはまるとは思わないということです。

私の記憶力はごく平凡ですから、辞書や単語集から「覚えよう」と意識して覚えます。覚えた後「忘れないように」と意識して復習します。それでも以前に覚えた単語からポロポロ忘れていきます。それを防ぐため、以前に覚えた単語も定期的に復習しています。このような意識的な作業によって、なんとか4万語近くの単語を維持しているのです。

多読は、覚えた単語を維持するには有効ですが、単語を増やす手段としては、単独では有効ではありません。中学レベルの単語でしたら、ひょっとして多読だけで覚えられるかもしれませんが、ある程度の難易度の単語であれば多読だけではどだい無理です。

単語を覚えるには、頻繁に出会う必要があります。当然、基本単語であればあるほど、多読でも覚えられる可能性が高いと言えます。逆に、難易度が高くなるほど出会う頻度が減ってくるので、多読だけで覚えられる可能性は低くなるわけです。考えるまでもないことです。

なお、上記の「難易度が高くなるほど出会う頻度が減ってくる」というのは、「せっかく覚えたのに滅多に出会うことのない難しい単語」という意味ではありません。「多読によって自然に覚えることが期待できるほどには頻繁に出合わない単語」という意味です。〈1〉『単語はどれだけ覚えたらいい?』で見たとおり、10000から30000語レベルの単語は、覚えてしまった後でなら「知ってる、知ってる」と頻繁に出会う基本的な単語です。ただ、覚えてしまう前は、実際には何度も出合っているのに、覚えていないために出合ったことに気づけない、というレベルの単語なのです。

それに、発音記号を辞書で確認せずに、多読だけでどうやって発音を身につけるのでしょうか。

冷静に常識を働かせましょう。

念のために一言。私は多読を否定しているわけではありません。多読だけで単語が自然に増えるということ、普通の人には当てにしないほうが良いと考えているだけです。多読そのものは、とてもよいことです。読むのが好きな人は、単語学習とは別にどんどん読み進めてください。